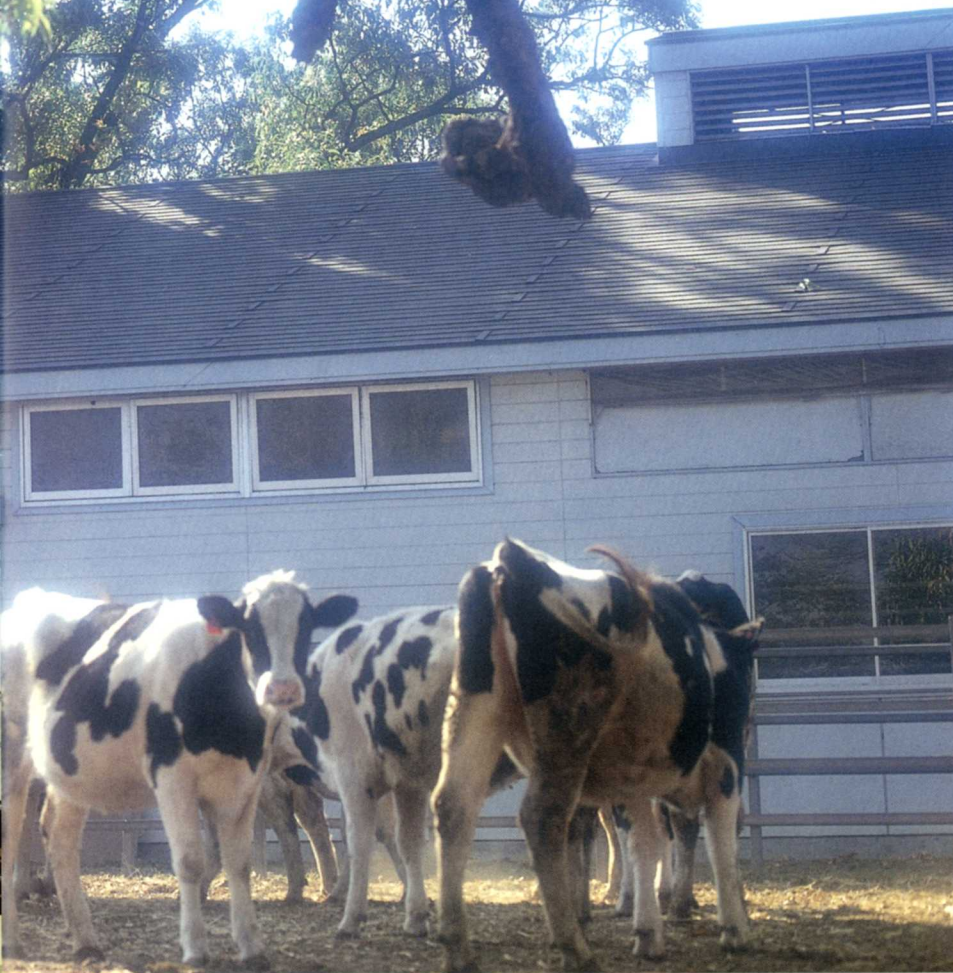


# 朝もやの中から、 時刻を告げるオランダの鐘が鳴り響く… 「牧場の朝」の風景に出逢える。



ただ二面にたちこめた 牧場の朝の霧の海  
 誰もが一度はくちずさみ、あるいは耳にしたこと  
 のある美しいメロディ、さわやかな朝の風景を歌っ  
 た歌詞：小学校唱歌「牧場の朝」は、ここ鏡石  
 町で生まれました。作曲者が、元東京音楽学校  
 （現芸大）の教授であった船橋栄吉ということは  
 分かっていたものの、作詞者は長い間不明とされ  
 ていた「牧場の朝」ですが、多年にわたる追跡研  
 究の結果、新聞記者で文筆家でもあった杉村楚  
 人冠が明治43年に町内の岩瀬牧場を訪れたと  
 きイメージをもとに作詞したものと確認され  
 ました。モデルとなった岩瀬牧場は現在、観光牧  
 場となり、年間25万人もの人々が訪れるレジャー  
 スポットとなっていますが、当時は六六〇haもの広  
 い原野に乳牛が放  
 牧され、のんびり  
 と草をはんでいた  
 そうです。

岩瀬牧場は、明治  
 40年、日本ではじ  
 めてオランダの乳  
 牛（オランダホル  
 スタイン）を導入  
 しました。「牧場  
 の朝」の中でも歌  
 われている鐘は、  
 オランダより、日  
 本とオランダの友  
 好の証として贈



オランダ祭りは毎年10月開催。のどかな田園都市にオランダの風が吹く